

稚内南中学校 39 $\left\{ \begin{array}{l} 6 - 19 \\ 12 - 13 \\ 8 - 19 \\ 13 - 17 \end{array} \right\}$ 68 中頓別中学校

主審 伊藤（洋）
杉本

第1ピリオド

中頓別中 河方の得点でゲームがスタートする。中頓別中はハーフのマンツーマンディフェンス、稚内南中はハーフの3-2ゾーンディフェンス。中頓別中は高さを生かしてディフェンスから確実にリバウンドをものにし、速攻へとつなぎ、立て続けに得点をする。3分を経過した段階で、中頓別中10-稚内南中0と大きく差が開く。その後、稚内南中 森江が初得点する。しかし、稚内南中はその後もリズムがつかめず、アウトサイドからシュートを放つもののなかなか得点できずゲームが進む。対して、中頓別中は 古谷のポストプレーや山内の3Pシュートで得点を重ね、中頓別中19-稚内南中6で第1ピリオドを終了する。

第2ピリオド

ディフェンスは第1ピリオドと同じく、中頓別中はハーフのマンツーマンディフェンス、稚内南中はハーフの3-2ゾーンディフェンス。第1ピリオドとは若干流れは変わり、トラベリング・ファウルなどのミスで、互いにリズムがつかめない状況が続く。中頓別中はリバウンドからの速攻や 古谷のポストプレーを中心として得点する。稚内南中はドライブからの得点を中心となる。中頓別中32-稚内南中18で前半を終わるが、第2ピリオドだけみると中頓別中13-稚内南中12と一進一退の五分の展開であった。

第3ピリオド

中頓別中は 古谷のワンマン速攻を皮切りに、リバウンドからの速攻で着実に得点を積み重ねる。対する、稚内南中はアウトサイドからのシュートを決めるが単発で終わり、流れをつかめない。4分半を経過した段階で中頓別中44-稚内南中22と差が広がる。稚内南中はタイムアウトを取るが、その後も流れは変わらず、中頓別中はインサイドをうまくついて攻める。中頓別中51-稚内南中26と大きく差を広げて第3ピリオドを終了した。

第4ピリオド

中頓別中はリバウンドがうまくとれず、なかなかリズムがつかめない。稚内南中は3Pシュートで巻き返しを図る。中頓別中53-稚内南中31で稚内南中がタイムアウトをとり、ひと息入れる。その後、稚内南中は 保田や 佐々木のドライブで得点をするが、集中力が続かず、流れをつかみきることができずにゲームがすすむ。最後に出場の機会が与えられた、稚内南中1年生 竹内のディフェンス・オフENS両面でのひたむきな姿が光っていた。中頓別中 古谷の3Pブザービーターで歓声とともにゲームが終了した。結果、中頓別中68-稚内南中39。

稚内南中の3-2ゾーンに対して、ポストを利用してうまく攻めることができたことに加え、高さを生かしリバウンドから速攻で着実に得点することができたことが、中頓別中の勝因と言える。稚内南中は高さのある相手に対してどう攻めるかが今後の課題となるであろう。

戦評 佐藤 誠